

● 論文

短期大学におけるコミュニティカレッジ
機能について

愛知学泉短期大学「生活デザイン総合学科」
に託したものの

安藤 正人

(愛知学泉短期大学長)

一 はじめに

愛知学泉短期大学(以下、本学という)は、平成一六年四月、日本版コミュニティカレッジとして、地域総合科学科の適格認定を受けた「生活デザイン総合学科」(入学定員一六〇名)を開設して一年半が経過した。幸い好調な船出となっているが、今般、本機関誌一〇月号特集のテーマでもある「短期大学におけるコミュニティカレッジ機能」について、本学が託した教育像を概説し、各位からのご指導を改めてお願いする次第である。

二 学科の名称、教育目的・目標

本学は一九二二年、女性に対して教育の門戸が開かれていなかった時代に、女性の地位向上をめざし裁縫女学校を開校したのが出発点である。創立者は、人間は男女にかかわらず誰でも無限の可能性を持ち、四大精神である「真心・努力・奉仕・感謝」の実践を通して、無限の可能性を秘めた個々の潜在能力を限界まで引き出すことができること信じて、この四大精神を建学の精神とする教育を開始した。また、創設者の信条であった「庶民性」と「先見性」を教育の基本理念として、家庭と社会に温かい心と新しい息吹を与えることのできる人間を育てるべく教育を展開し、今日に至っている。

現在、わが国の高等教育機関においてはマス化・ユニバーサル化への模索がなされる中、本学においても、学生の学力レベル、教育内容、知的・人的資源の多様化に十分配慮した改革が不可避的な時代的要請であると認識するところである。すなわち、学生の基本的態度は受動的であり、かつてのように学ぶ目的を明確に持つて自らカリキュラムをデザインし、その成果である大学経験を統合するという能動的な姿勢は低調な状況である。

例えば、学生アンケートからも「明確な将来像を得ることができずに、それを求めている自分に気づいた」「今、自分はまさに自分のための価値観を模索しているところだ」等の内容の回答が多数みられる。やはり、これは何のために大学に進むのかが明確でなく、自分探しのために来ている学生像を示唆するものである。

また、読む・書く・話す能力においても友達同士、家庭などでの日常生活を送る上では不足はないが、高等教育を受け、合理的で高度な内容を表現するのに必要なスキルが不十分であるといった傾向も認められるなど、従来の学生資質と大きく変わる状況である。

このような本学の状況及び臨時教育審議会における三つの改革（多様なニーズを持つ学生に対応する柔軟なシステム、生涯学習の体系化、国際化・情報化など新しい時代への対応）の提言を受け、既設の服飾科、家政科、国際教養

科の三科について発足以来の教育理念・教育目標を再確認することとしたのである。

その作業の過程では、いかにして個性的あるいは魅力的な短期大学・学科として建学の精神の今日的具現化を図るのか、入学した学生にどのような付加価値をつけて社会に送り出すのかなど、教育の目標とあり様を明確化しようとした。その結果、本学はいつの時代にも求められる「人」をつくる教育の実践と改革を推進することが使命であることを確認し、すなわち、人は絶えず「生きる」ために必要なものを身につけようとしているし、そうした願望に意識的にも、無意識的にも突き動かされている。社会に出ようとしている若者を中心に、このことに助力し支援する教育機関として、普遍的な本学の社会的存在意義を位置付けた。さらに、かかる現実とモラルハザードが顕著で社会的常識が欠落し、かつ自分で考える力が低下している学生の実態を踏まえ、幅広い文化教養を備えた人材の育成を可能とする教養型大学（コミュニティカレッジ）として再生することとしたのである。

そこで、既設の三科を統合し、「人」として、生きるために有意義な知識や技能を総合的に学修するカリキュラムを整備し、その教育目標を掲げる「生活デザイン総合学科」の一学科に再編することとした。

学科の名称については、本学が「庶民性」（学問や教育

は庶民の間に芽生え、庶民のものでなければならず、そのためには学問の成果を地域社会に還元することにより、地域社会の要請に応え、貢献することが求められること」と

「先見性」（来るべき文明を予知して教育の理想像を打ち立て、その達成のために全知全能を傾けることである）を建学の理念として受け継いで展開してきたこと。また、永い実学志向の教育を進めてきた本学に対するこれまでの社会や地域からの要請、職業意識の変化に伴う学生の多様な進路選択希望とそのために必要な幅広い学習への期待に応える学科であることから、「生活デザイン総合学科」とし、創立者の夢の実現をさらに推し進めることとした。

三 教育課程

従来の教育課程は主体的・能動的に「学習」する学生を前提に構築されていた。そこでは市民社会の人間像は、少なくともそれ以前の学校教育段階において目指すものであるとされ、本学においてもこのことを前提とした教育課程が構築されていた。

しかし、「生活デザイン総合学科」では市民社会、民主社会に求められる「人」としてのアイデンティティの獲得を積極的に推進するため、既設の三科の専門性を一部残しつつ、原則として従来の「積み上げ型」をやめ、縦割りか

ら横断的ないわゆるカフェテリア方式を導入し、学習者のニーズに応じた多彩な科目選択が可能となるよう科目配置を行った。

具体的には、領域・分野を「フィールド」、「フィールド」を追求し理解する上で柱となる学習テーマを「ユニット」（語学及び情報の一部の科目を除きセメスター制を基本とし、八単位で構成）として位置づけ、七フィールド二三ユニットで教育課程を構築した（ベーシックフィールド二三ユニット一科目）、コミュニケーションスキルフィールド二三ユニット二科目）、メディア・オフィスフィールド四ユニット三科目）、ライフ・デザインフィールド五ユニット二科目）、ファッション・アートフィールド三ユニット二科目）、ヘルス・ウェルフェアフィールド三ユニット一科目）、オープンフィールド二三ユニット二科目（資料参照）。

ベーシックフィールド一六単位については全学生必修とし、四ユニット（三三単位）を選択必修、その他自由選択一六単位の総計六四単位を卒業要件単位とした。なお、四ユニット選択必修とすることで科目選択のミスマッチが生じてもユニットを変更することを可能としている。これにより自分の興味・関心、能力・適正など個性を生かすことや、将来の多様な進路選択に合わせて学習系列を選ぶことができ、また複数の系列を学習することによって、幅広い

教養を身につけるとともに、付加価値として資格取得並びに各種検定試験に合格できるよう配慮した。

また、学生に対して基本的に好きなこと、やりたいことを学ばせることを前提としているが、資格や検定取得の履修モデル（組合せ）及び資格・検定取得別プログラム表も併せて用意して学生の進路選択の一助となるよう指導の徹底を図っている（資料2参照）。

オープンフィールド三ユニットについては技術革新の進展や産業構造の変化等に対応して、新たな知識や技能を修得したり、陳腐化していく知識や技術をリフレッシュするための開放講座とし、地域の人々、社会人等の学習需要に応じた再教育も行えるよう配慮している。

学納金については、卒業要件の六四単位を超えて七二単位まで（一年間三六単位まで）は、基本授業料と一定額の単位授業料に含み、学習意欲を保証する措置を講じている。

四 対象学生

対象学生の多様性についてはフルタイムの一般学生であるが、社会人学生については科目開設時期・時間等の設定に配慮しながら、積極的に受け入れていく方向である。しかし、当面、土曜日に開講する講座及びオープンフィールドへの参加によって学習の機会を提供し、次のステップと

して入学に結び付けたいと考えている。

科目等履修生については、現在も系列の高等学校及び同一法人設置の幼稚園の保護者へも広報し、生活デザイン総合学科で受け入れを促進している。また、長期履修生の受け入れについては今後の解決すべき課題としている。

五 学習・就職支援等

学生個々の履修については、「学びとライフプランニング」（ベーシックフィールド／共通ユニット・必修）において将来の夢・希望に合わせて担当教員が個別に履修アドバイスを行い、時系列（半期単位）に学生の動向を把握していくとともに、相対評価で学生を横並びで序列化しないよう展開している。

「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」（ベーシックフィールド／共通ユニット・必修）では、将来の夢（進路）を支援する講座と位置付け、（自分を知らず）から（その夢の実現に向かつて努力し自分に自信をもてる能力を高めさせる）、これらを早期に認識させ（将来の夢を実現するライフプラン（生涯設計）にあう学習を展開する）、そして（実際の就職活動方法等について具体的に指導すること）としている。また、履修指導同様、入学直後に「卒業する頃の私」と題して卒業時の理想像を書かせ、時系列に学生個々の動

向を把握することとしている。

六 教員組織

教員組織については、「学びとライフプランニング」を担当する教員配置とともに、二三ユニットのうち、教養・共通ユニット及びオープンフィールドの三ユニットを除く一八ユニットには責任者として各ユニットに専任教員が配置されており、各科目担当者と調整・連絡等を行っている。

七 地域との連携

本学の母体である学校法人安城学園は三河地域の発展とともに歩み、各設置校とも建学の理念と伝統を受け継ぐとともに、新しい時代の流れに即応し、独自の教育活動を展開している。その基本コンセプトは地域と市民、そして世界をも含むさまざまなコミュニティとともに歩む教育を通して、豊かなまちづくり・人づくりに努める、としている。

本学としても、岡崎市が主催し本学で開催する「岡崎市民カレッジ」をはじめ、地域の誰もが学べる環境を提供したいという観点から二〇〇〇年度より「学泉塾」をスタートさせ、生涯学習や環境、そしてまちづくり等について多彩な講座を開講している。また、インターンシップについ

ても授業科目として規定し、積極的に実施している。

八 おわりに

本学が「コミュニティカレッジ機能」をいかに魅力あるものとして発揮するかは、やはり、自己点検・評価の実施による教育の質の担保が不可欠である。そこで、自己点検・評価委員会の下、各分掌（教務部・学生部・就職指導委員会・国際交流・図書館・生活文化研究所）による点検・評価、学科による点検・評価、さらに教員個人による点検・評価を実施し、運営委員会、さらに教授会を経て学園の自己点検・評価委員会へ報告する体制としている。

学生による評価については、全科目に対して学生による授業評価アンケートを実施し、授業改善に努めている。併せてFDの実施に向けて体制を整えているところである。そして、新学科の二年間の点検・評価と併せて、本学は一八年度内に短期大学基準協会による第三者の機関別認証評価を受けることとしている。

明年三月には、本学科で学んだ第一回生を社会に送り出し、その教育の真価を試されるという不安と期待が錯綜する中、本学教職員と学生が建学の理念・精神に基づいた教育実践を信じて、今までも増して努力を重ねることが肝要であると、強く願うところである。

生活デザイン総合学科は、目的や興味にあわせて自由に科目選択(フリーチョイス)できる学科です。
 “憧れの仕事に就きたい”“資格をたくさん取りたい”
 という目的のある人も、
 “将来のことをじっくり考えたい”“やりたいことがありすぎて・・・”
 という人も大丈夫。
 たくさんの組み合わせの中から、きっとあなただけの進路が見つかります。

**コミュニケーション
スキルフィールド**

特に英語を中心とした語学関連の分野です。語学力を磨きたい人や留学、英検・TOEIC・TOEFLをめざす人にオススメです。

**ヘルス・ウェルフェア
フィールド**

健康・福祉関連の分野です。ホームヘルパー2級やレクリエーションインストラクターなどの資格取得が可能です。

**ライフ・デザイン
フィールド**

文化や生活について学ぶ分野です。クッキングやインテリア、生活マナーもここで、図書館も取得できます。

**ファッション・
アートフィールド**

ファッションやデザイン関連の分野です。デザイナーになりたい、アパレル関係の仕事につきたい、お店を持ちたいという人に。

**メディア・オフィス
フィールド**

情報処理を中心としたビジネス業務の分野です。ワード・エクセルをはじめマルチメディア検定や秘書技能検定などの資格取得も可能です。



Point!
入学から卒業まで万全のサポート体制!

生活デザイン総合学科では、学生一人ひとりの夢の実現に向け、担当教員が履修方法や就職指導など、さまざまにアドバイスする支援体制を整えています。

【学びとライフプランニング】
多彩で豊富なカリキュラムの中から、学生一人ひとりの目的や興味にあわせて履修プランを入学時から継続的にアドバイスします。

【キャリアデザイン】
専攻の就職(就活)活動は、入学後すぐスタートします。新しい就職環境に対応するため、自己分析から希望職種、そして具体的な活動方法を経験豊富なスタッフが的確にアドバイスします。

オープンフィールド
学生はもちろん、社会人の方も自由に学べます。語学・パソコン・趣味・教養ユニットの中から興味や実益に合わせた講座を気軽に受講することができます。

就職に断然有利な資格・検定を取得するためのメニューもいろいろ!

資格・検定名	取得に必要な(後立つ)ユニットと科目
秘書士プログラム	● オフィスワークユニット + ● マーケティング Word演習Ⅰ 他5科目
図書館司書プログラム	● 図書・資料ユニット ● 図書館サービスユニット + ● コミュニケーション 生活学習概論 他2科目
レクリエーション・インストラクタープログラム	● 生涯スポーツ ● レクリエーション論 ● レクリエーション実技 ● レクリエーション実習 ● まちづくり研究 の計5科目
ホームヘルパー2級プログラム	● ホームヘルパーユニット + ● 家庭援助技術 ● 福祉制度とサービス 他5科目
カラーコーディネーター検定対策プログラム	● ファッション・ビジネスユニット + ● 色彩と表現 ● カラーコーディネーター検定直前講座 など
ビジネスコンピューティング検定対策プログラム	● 情報basicユニット ● 情報advancedユニット + ● ビジネスコンピューティング検定直前講座 ● ビジネス法規 など
TOEIC対策プログラム	● 英語コミュニケーションbasicユニット ● 英語コミュニケーションadvancedユニット + ● TOEIC対策講座 など
CG検定(画像情報技能検定CG部門)対策プログラム	● 情報basicユニット ● 情報advancedユニット + ● CG検定対策講座 など
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● ファッションコーディネーター検定 ● ファッションデザイン技能検定 ● 秘書技能検定 ● 実用英語技能検定(英検) ● 日本語教育能力検定 ● ワークデザイン検定 ● フォーメタルペーパーレス認定試験 ● ビジネス実務検定 ● マルチメディア検定(情報処理検定マルチメディア部門) ● 情報処理技能検定 ● 日本語実用能力検定(漢検) ● 情報処理技能検定 ● 日本漢字能力検定

*右記の資格・検定もサポートしています。

カリキュラム

フィールドとユニットについて
 フィールドとは、専門領域、分野を指します。ユニットとは、「フィールド」をより理解するうえで「社」となる学習テーマを指します。1つのフィールドを構成することも、フィールドにとられることなくユニットごとの選択をすることができるのも特徴の一つです。

1 ベーシックフィールド ※必須フィールド

共通ユニット	教養ユニット
<ul style="list-style-type: none"> ● キャリアデザインⅠ ● 学ひとライフプランニング ● 健康管理論 	<ul style="list-style-type: none"> ● キャリアデザインⅡ ● 総合セミナー ● 生涯スポーツ ● 心のはたらき ● コンピュータ演習 ● 日本事情 ● 社会のしくみ ● はじめての中国語 ● 現代日本社会 ● やさしい科学 ● はじめてのフランス語 ● 日本文化史

**社会人対象
開放講座**
(学生も受講できます)

● オープンフィールド(開放講座)
※卒業要件単位に含めない

● 語学ユニット

- はじめての英会話
- トラベル英会話
- キッズイングリッシュ
- はじめての中国語
- はじめてのフランス語

● パソコンユニット

- はじめてのパソコン
- Word初級
- 実用Word
- Excel初級
- 実用Excel
- インターネット・電子メール入門
- データベース初級

● 教養・教養ユニット

- 家庭の介護
- 子育て問題
- 健康と食事
- 心の健康
- 地域著名人に聞く
- カラープランニング
- リサイクルと収納
- 茶道入門

**コミュニケーション
スキルフィールド**

- 英語コミュニケーションbasicユニット
- スピーキングⅠ
- スピーキングⅡ
- トラベルイングリッシュ
- イングリッシュリスニング
- インターネットイングリッシュ
- リーディングⅠ
- 英語表現法
- 英語コミュニケーションadvancedユニット
- スピーキングⅢ
- スピーキングⅣ
- ホームステイイングリッシュ
- シネマイングリッシュ
- スピーチクリニック
- リーディングⅡ
- 海外研修
- 日本語コミュニケーションユニット
- 日本語文法と読解
- 文庫コミュニケーション
- 日本語日常会話と敬語
- 日本語ディベート
- 日本語のルーツ
- 民話と古典芸能
- 日本語表現法

**メディア・オフィス
フィールド**

- 情報basicユニット
- Word演習Ⅰ
- Word演習Ⅱ
- Excel演習Ⅰ
- Excel演習Ⅱ
- インターネット活用演習
- コンピュータグラフィックス演習
- 情報と社会
- 情報advancedユニット
- データベース演習
- プレゼンテーション演習
- Webデザイン演習
- マルチメディア演習
- 情報検索(演習を含む)
- 情報デザイン
- オフィスワークユニット
- 秘書概論
- 秘書実務Ⅰ
- 秘書実務Ⅱ
- 秘書実務Ⅲ
- コミュニケーション論
- ケーススタディ
- ビジネスワークユニット
- ビジネス法規
- マーケティング
- 非営利組織とベンチャー企業
- 社会的スキルトレーニング
- ストレスコーピング

**ライフ・デザイン
フィールド**

- 比較文化ユニット
- 比較文化論
- 国際理解
- 地域と文化
- 比較文化演習
- まちづくり研究
- 社会生活ユニット
- ジェンダー論
- 生涯学習概論
- 社会生活の心理学
- 子どもの発達と育児
- 生活とマナー
- 家庭生活ユニット
- くらしと食文化
- 生活とエコロジー
- ホーム・クッキング
- 東洋・西洋の料理
- インテリアコーディネート
- 生活環境演習
- 図書・資料ユニット
- 図書館概論
- 秘密実務Ⅰ
- 秘密実務Ⅱ
- コミュニケーション論
- ケーススタディ
- 図書館サービスユニット
- 図書館概論
- 図書館サービス論
- 児童サービス
- レファレンスサービス演習
- 図書館経営
- 図書館実習

**ファッション・
アートフィールド**

- ファッション・アートユニット
- ファッション・ビジネス
- アパレル商品論
- ファッション情報分析
- ユニバーサルデザイン
- ファッションスキル演習
- CGとファッション
- アパレルインターンシップ
- ファッション・クリエイティブユニット
- ファッションアクセサリー
- アパレルCAD
- ファッション造形
- アパレル造形
- トレーニング
- アパレルパターンメイキング
- ファッションコーディネート
- 染色デザイン
- パターンデザイン
- 造形デザイン
- 色彩と表現
- クラフトデザイン
- デッサン
- 美術・工芸ディスプレイ

**ヘルス・ウェルフェア
フィールド**

- トータルヘルスユニット
- 健康の医学
- レクリエーション論
- 人体の構造と機能
- フィジカルトレーニング
- ボディワーク演習
- 福祉ユニット
- 社会福祉論
- 社会福祉援助技術
- 高齢者と障害者(児)の理解
- 福祉制度とサービス
- 家庭援助技術
- レクリエーション実習
- ホームヘルパーユニット
- 在宅介護論
- リハビリテーション
- 介護実技
- 介護実習事前指導
- 介護実習

生活デザイン総合学科
履修Howto?



何を学ぶためにはどうしたらいいのかわからないか? → 専門スタッフからアドバイスを受けよう。

4ヵ月

6ヵ月

7ヵ月

8ヵ月

9ヵ月

10ヵ月

11ヵ月

12ヵ月

卒業